

國本建築堂株式会社
國本 広行

【作品名】
5坪の家
小宅～kota～



before



after

設計 國本建築堂デザイン事務所

施工 國本建築堂株式会社

竣工日 2022年10月3日

建物概要

建設地 広島県尾道市 延床面積 35.19㎡

敷地面積 71.24㎡ 構造・規模 木造2階建

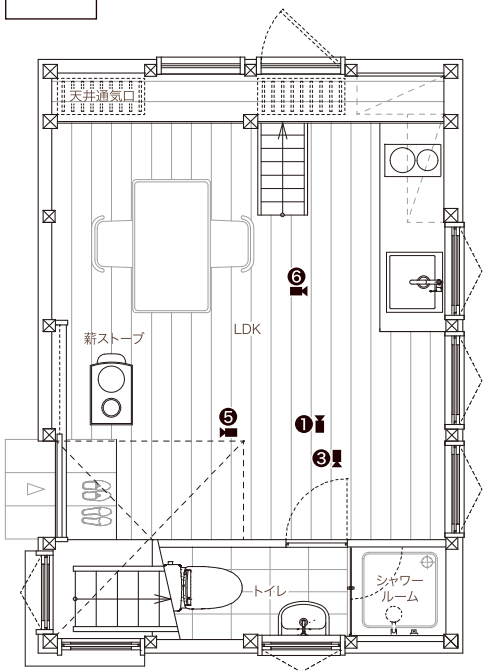
設備面の特記

厨房機器 IHクッキングヒーター

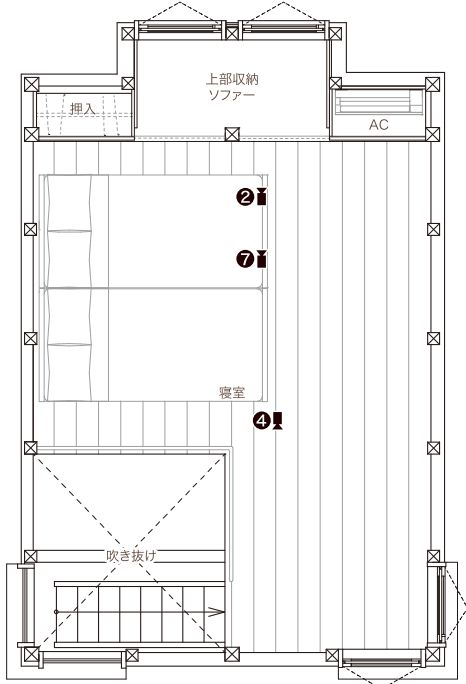
給湯機器 ガス給湯器

冷暖房機器 エアコン・薪ストーブ

平面図

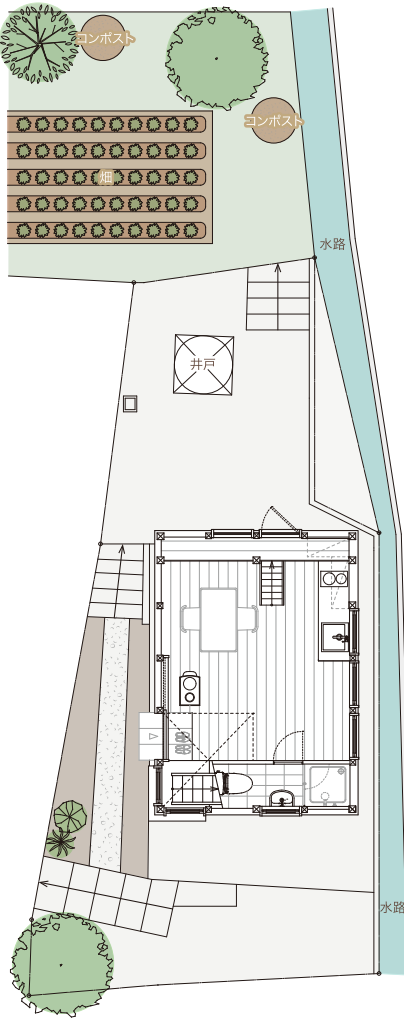


1F



2F

配置図



設計コンセプト

便利すぎ、物にあふれた世の中に少しでも疑問を持ったことから始まった今回の家づくり。老朽化が進み改修が必要だった蔵を、夫婦2人がミニマルな暮らしを楽しめる5坪の家としてリノベーションした。過剰な機能を削ぎ落とし、最小限のスペースで叶うシンプルかつ快適な暮らしを追求することで、自然循環に即したサステナブルな住まいを実現した。

一般的な家に備わっている設備機器や間仕切りを全て見直し、生活の質を落とすことなく自然エネルギーや自然素材を活用できるものは代替えた。これにより、メンテナンスの手間や設置スペースを削減することができた。

具体的には、①1階に薪ストーブを設置して2階と完全に仕切らないことで、温度差で生じる気流で家全体を温める仕組みにし、空調機器

の縮小を図った。②場所ごとの必要な明るさや周囲からの視線、借景を意識して、日中はほぼ窓からの自然光のみで過ごせるようにし、カーテンの必要性を省略した。③床に無垢材、壁に珪藻土を採用し、自然の調湿効果で室内環境を安定させるようにした。

狭小空間から暮らしの豊かさを創出するために、最短の生活動線で動けるよう配慮した。特に造作キッチン、適材・適所・適量の収納計画とし、シンク下には作業台にもなる収納キャスターも造作した。さらに、1つの場所で多様な過ごし方が楽しめるよう、障子を閉めると読書部屋にもなるソファや、畑への勝手口にもなる窓など工夫を施した。

審査委員講評

ひと目見て可愛さと愛着を感じのお家です。

レベル差のある畑とキッチンとの関係や2階の段差ソファの居心地も巧みでシンプルさの中に設計者の力量を存分に感じさせます。薪ストーブや2階のエアコンの仕掛けも最小限のエネルギーで最大の効率を生み出しているように思われ、小ささが最大の省エネと改めて感じさせてくれる住宅です。



①

①自然素材を活かした内装。天井には既存の梁と新たに入れた梁の木組みが見える。

②ソファの周りを有効活用。障子を閉じた状態でエアコンをつけると、床のスリットから1階に直接空気が流れていく設計。その他収納も備えている。



②



③

③階段下に、トイレ、洗面、シャワールームを凝縮。自然光が程よく差し込む。

④寝室の窓は遠くの景色を切り取る。部屋や2階との仕切りを最小限にし、視線に合わせた開口を設けることで、狭さや不便さを感じることなく、余計な手間のかからないシンプルな暮らしを実現。



④



⑤



⑥



⑦

⑤1階に設けた小さな薪ストーブ。2階と完全に仕切らないことで、気温差による気流で部屋全体が暖まる空間設計とした。

⑥適材・適所・適量で収納でき使い勝手が良い造作キッチン。キッチン下のキャスター付造作収納は作業台にもなり、自由に料理を楽しめる。

⑦入り込めるソファ。障子を閉めればひとり静かに外を眺めながら読書に没入できる1畳サイズの個室になる。